

ブドウ品評会 榎戸園が1位

掲載日：令和7年8月29日（金）

稲城市高尾ぶどう生産組合は8月上旬、稲城市のブドウ畑で「高尾」の立毛品評会を開いた。審査は、収量品質、病虫害管理、房づくり、整枝剪定の4項目で行い、審査の結果、第1位は矢野口地区の榎戸園（園主 原嶋英晃さん）となった。

同生産組合各支部の代表園5園と昨年度に第1位となった園を、東京都農業振興事務所の杉田交啓課長代理と東京都農林総合研究センターの荒井那由他研究員の2人を審査員に迎え、巡回した。

同生産組合の篠崎益朗組合長は「今年は猛暑日が続き雨も少なかったが、巡回園では着色、糖度共に良好だった。今後も暑い日が続くと思うので、高温対策などの栽培技術を検討していきたい。」と話した。

審査後はJ A稲城支店で、巡回した各園で枝元と枝先から1房ずつ採ったブドウで、作柄検討会を開いた。



審査をする同生産組合員と審査員ら（東京都稲城市で）